

問い合わせ先

海洋情報部

監理課長 米須 清

TEL099-250-9800(内線 2510)

平成 20 年 7 月 7 日

第十管区海上保安本部



リーフカレント・ダウンカレントに注意！！

マリンレジャーシーズン到来！サンゴ礁域で海水浴やダイビングを楽しむ方は、リーフカレントやダウンカレントと言う予想以上の強い流れが発生することがありますので注意しましょう。

リーフレット作成について

海上保安庁では、海底地形に強く影響を受けて発生するリーフカレントやダウンカレントが原因と思われるマリンレジャー・マリンスポーツ事故を減少させるため、平成18年度から2ヵ年計画で、財団法人日本水路協会との共同研究事業「リーフカレント等の観測手法及び発生機構の解明に関する研究」を実施し、その成果の一つとしてリーフレット（別紙）を作成しました。

このリーフレットは、管内の海上保安部署に配布し、マリンレジャーの安全推進や水難事故防止の啓発活動に役立てます。

* リーフカレント

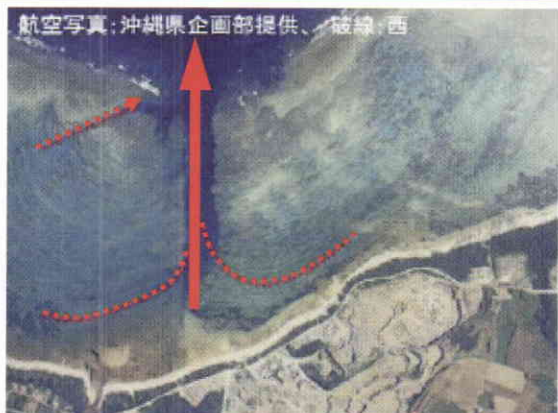
リーフカレントとは、サンゴ礁（リーフ）の縁で潮が引くとき、リーフ内の海水がリーフの切れ目（リーフギャップ）から沖合いへ向かって行く強い流れのことです。

* ダウンカレント

ダウンカレントとは、サンゴ礁の縁（リーフエッジ）や岩礁域など、外洋に面し急峻な海底地形のところで発生する海底方向へ潜り込む流れです。

リーフカレントに ご注意ください!

リーフカレントとは、サンゴ礁の縁で潮が引くとリーフ内の海水が礁嶺の切れた狭い場所に集中して沖合いへ流出する強い流れのことを言います。



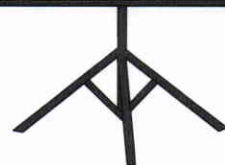
サンゴ礁のリーフカレントは
切れ目に集中!

注意! ここにリーフカレント



!
保護者の方々・
引率の先生方へ

子供達は周りに目が届かないことがあります。必ず、保護者が安全に遊べるかどうか確認をお願いします。



サンゴ礁で楽しむ前に・・・

- 風の強い時、リーフ外の波が高い時はリーフの際に近づかないようにしましょう。
- 海が穏やかでも流れが強い場所があるので注意しましょう。
- 最寄の関係機関への問い合わせ等、事故発生の有無や地形の情報を事前に入手しましょう。
- ライフジャケットを着用し、携帯電話を防水パックに入れて身につけましょう。

(第十一管区海上保安本部HP ⇒ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/11kanku/>)

リーフカレントに遭遇したら・・・

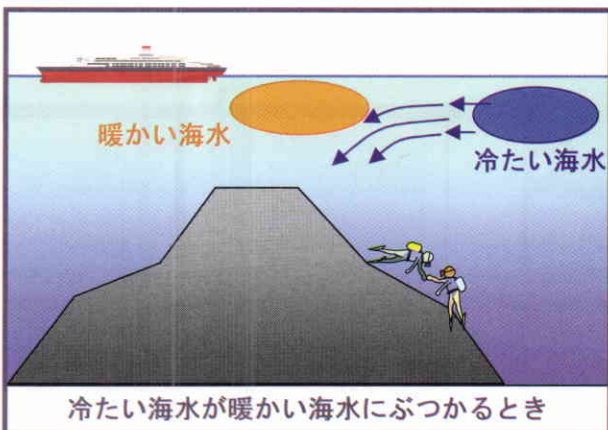
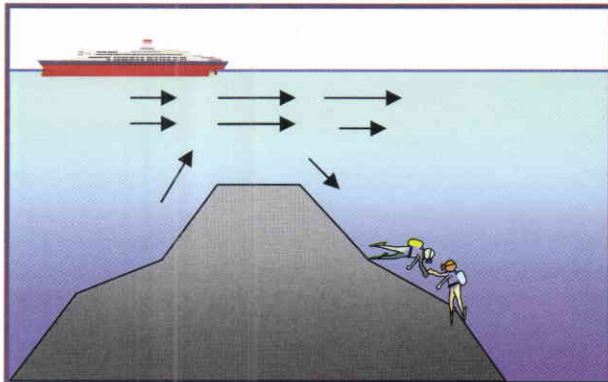
- 流れに逆らわず、流れを横切るように泳ぎましょう。(岸向きに泳いでも逃げきれない可能性が高いです)
- リーフの外に流されてしまったら、流れが弱まってからリーフ沿いに泳ぎ、一番近い陸地を目指しましょう。
- 救助が必要なときは、海の緊急通報118へ電話しましょう。

〒144-0041
東京都大田区羽田空港
1-6-6 第一綜合ビル6F
財団 日本水路協会
法人
TEL 03-5708-7076
FAX 03-5708-7075

ダウンカレントに ご注意ください!!

ダウンカレントとは、さんご礁のエッジや岩礁域などの急峻な海底地形で発生する下向きの流れのことです。

【ダウンカレントの発生要因】



★岩礁域はダイビングスポットで、様々な生物を鑑賞できますが、十分注意して下さい。


岩礁域に近づく前に・・・

- 最寄の関係機関への問い合わせ等、事故発生例の有無や地形の情報を事前に入手してください。
- 突然発生することがありますので、常にガイドやバディの位置関係を留意し、単独行動にならないようにしましょう。
- ダイビングする場合はガイドの注意を良く聞き、流れの強いときは急斜面でのアプローチを避けましょう。

(第四管区海上保安本部HP ⇒ <http://www.kaiho.mlit.go.jp/04kanku/>)

ダウンカレントに遭遇したら・・・

- エアー残圧に余裕がある場合は、落ち着いて近くの岩場につかまり、流れが弱まるのを待ちましょう。
- エアー残圧に余裕がない場合は、BCジャケットの活用やウエイトを捨てることにより浮力を確保し、脱出に努めましょう。
- 救助が必要なときは、海の緊急通報118へ電話しましょう。

〒144-0041
東京都大田区羽田空港
1-6-6 第一綜合ビル6F
 財団法人 日本水路協会
TEL 03-5708-7076
FAX 03-5708-7075